

# 阿賀野市総合計画2025-2032

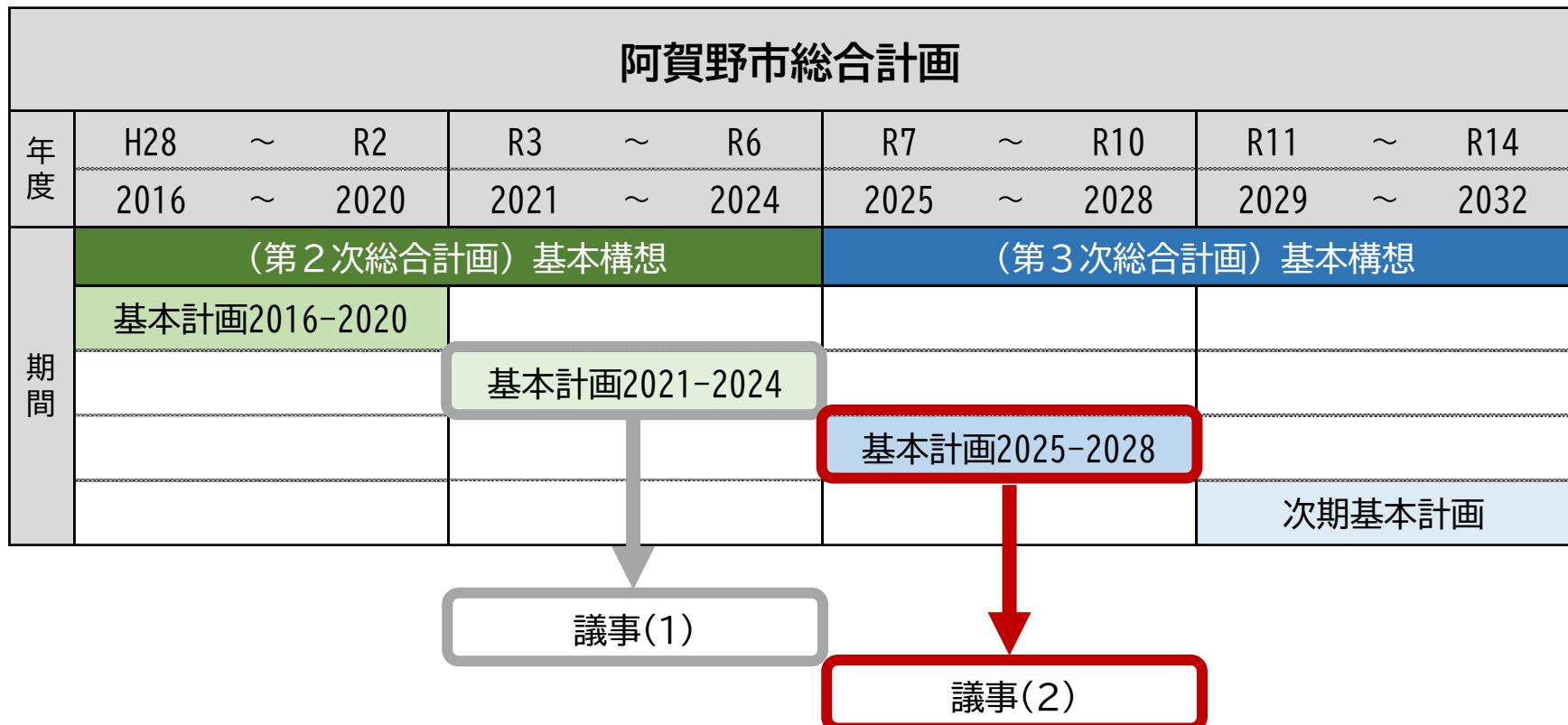
## 基本計画2025-2028期



- ①成果指標の変更について
- ②今後設定としていた成果指標について

## (補足)

この議事は令和7年度から10年度までを計画期間とした「基本計画2025-2028期」に関するものです。



# ①成果指標の変更について

## ■施策2－2 学校教育の充実（計画冊子：60ページ）

（変更理由） 成果指標としていた全国学力・学習状況調査において、今年度から標準化得点が示されなくなったため。

変更前	指標名	現状値	目標値	説明
	全国学力・学習状況調査結果の標準化得点	児童 95	100	小学6年生を対象とした全国学力・学習状況調査の国語、算数の全国平均を100とした場合の比較値です。
		生徒 95	100	中学3年生を対象とした全国学力・学習状況調査の国語、数学の全国平均を100とした場合の比較値です。
変更後	指標名	現状値	目標値	説明
	標準学力調査結果で到達目標値に達した児童生徒の割合	児童 57.3%	60.0%	小学校全学年を対象とした標準学力調査結果で、到達目標値に達した児童の割合です。
		生徒 45.1%	50.0%	中学校全学年を対象とした標準学力調査結果で、到達目標値に達した生徒の割合です。

## ■施策2－2 1. 基本事業（計画冊子：61ページ）

（変更理由） 上記成果指標の変更により、指標値の取得先となる調査の重複を避けるため。

変更前	基本事業名	目指す姿	指標名	現状値	目標値
	確かな学力の向上	分かりやすい授業により児童生徒の理解度が高まっているとともに、家庭学習が習慣化しています。	学習内容が身に付いている児童生徒の割合	児童 57.4%	65.0%
			生徒 (略)	46.3%	60.0%
			(略) (略)	(略) (略)	(略) (略)
変更後	基本事業名	目指す姿	指標名	現状値	目標値
	確かな学力の向上	分かりやすい授業により児童生徒の理解度が高まっているとともに、家庭学習が習慣化しています。	授業が分かると回答している児童生徒の割合		児童 85.6%
			生徒 (略)	72.2%	75.0%
			(略) (略)	(略) (略)	(略) (略)

## ②今後設定としていた成果指標について

総合計画の基本計画2025-2028期において、令和7年3月の策定時点では目標値の設定ができなかった成果指標について、現時点の目標設定状況は下表のとおり。

政策	施策	基本事業	成果指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)	備考
04 地域経済の活性化と拡充	02 商工業の振興	04 産業を支える人材の確保・育成	人材育成が十分に行われている企業割合	60.8% (令和7年度)	75.0%	
			事業推進のための人材が確保されている企業割合	33.0% (令和7年度)	50.0%	
05 生活に密着した住みやすい環境づくり	04 上水道の安定供給	01 安定供給の推進	管路の耐震化率	15.1%	今後設定 (令和8年3月設定予定)	※今年度策定予定の「水道ビジョン」において目標値を設定
			浄水施設の耐震化率	78.3%	今後設定 (令和8年3月設定予定)	※今年度策定予定の「水道ビジョン」において目標値を設定
		03 健全経営の推進	有収率	85.6%	今後設定 (令和8年3月設定予定)	※今年度策定予定の「水道ビジョン」において目標値を設定
			経常収支比率（一般会計基準外繰入金除く）	109.1%	今後設定 (令和8年3月設定予定)	※今年度策定予定の「水道ビジョン」において目標値を設定
			料金回収率	103.8%	今後設定 (令和8年3月設定予定)	※今年度策定予定の「水道ビジョン」において目標値を設定
07 市役所機能の整備・強化と信頼される行政運営	01 行政経営の推進	03 組織・人事マネジメントの推進	職員数	462人	今後設定 (令和8年3月設定予定)	※組織機構改編を踏まえ、適正な職員数を設定